

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

85.3%

■ 製造・販売・サービス

日本トレクス㈱
北陸重機工業株式会社㈱
極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)
PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)
SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITED (インド)
MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)

■ サービス・中古車販売

㈱エフ・イ・オート
振興自動車㈱
井上自動車工業㈱

■ 関連

極東特装車貿易(上海)有限公司 (中国)

環境事業

8.5%

■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

極東サービスエンジニアリング㈱
極東サービスエンジニアリング北海道㈱
㈱モリプラント
㈱エコファシリティ船橋

不動産賃貸等事業

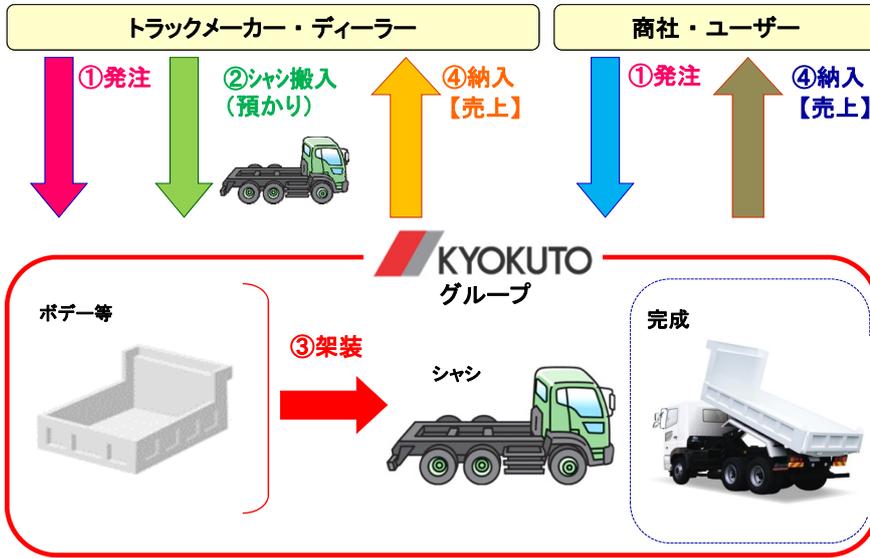
6.2%

■ 立体駐車装置、コインパーキング

極東開発パーキング㈱
㈱エフ・イ
ささしまライブパーキング㈱

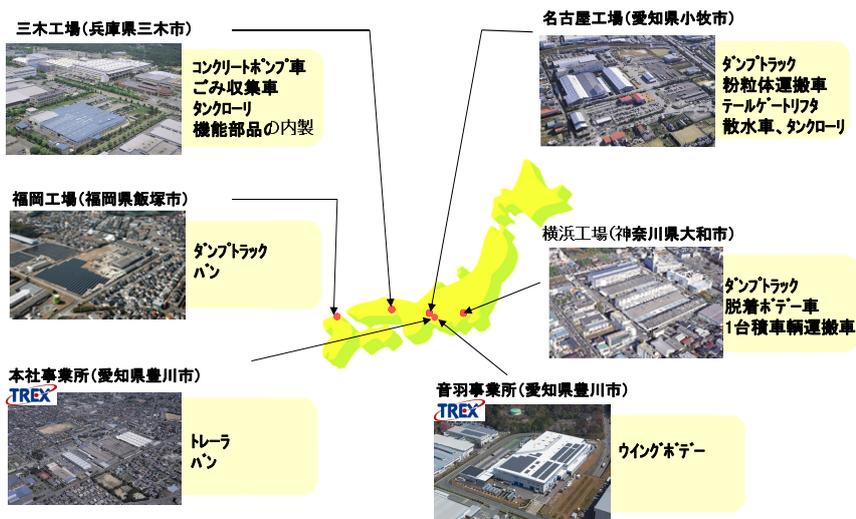
<比率は売上構成比(2020年9月期)>

特装車事業



コンクリートポンプ車等一部の製品についてはシャシは買取。

国内生産体制



グループ主力製品



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬車



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフタ



ダンプトラック



脱着ポデー車



ごみ収集車



ウイングポデー車

5

海外生産体制



【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.



ダンプトラック
ミキサートラック

(操業開始: 2012年10月)

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック

(操業開始: 2005年4月)

【インド】SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITED



ダンプトラック
トレーラ
タンクローリ

(グループ化: 2020年9月)

【インドネシア】PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA



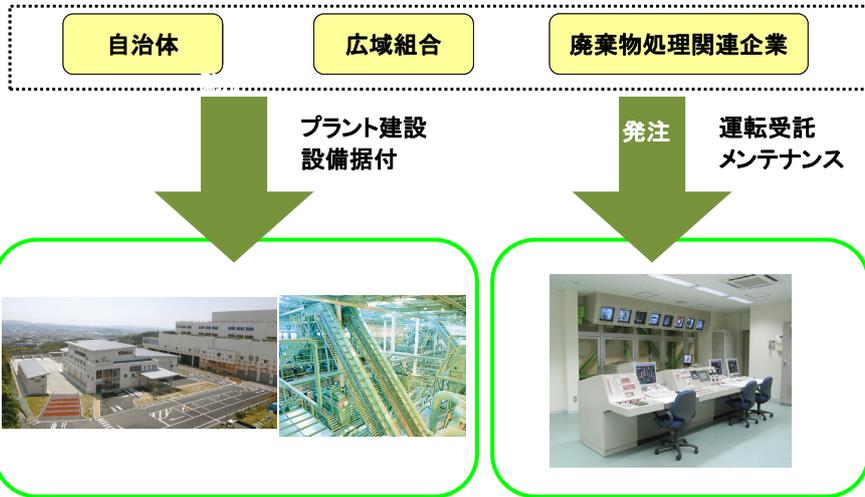
ダンプトラック
ミキサートラック
テールゲートリフタ

(操業開始: 2014年2月)



6

環境事業

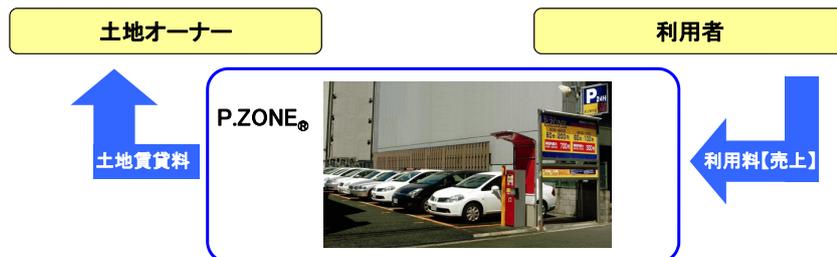


不動産賃貸等事業

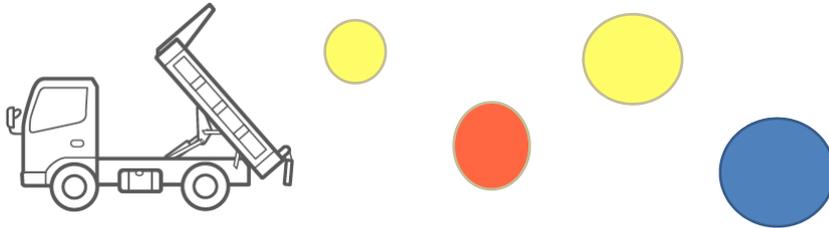
【立体駐車装置】



【時間貸駐車場】



2021年3月期 第2四半期 連結決算実績



2021年3月期第2四半期 連結決算



	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	57,821	52,768	△5,054	△8.7%
営業利益	3,740	3,215	△526	△14.0%
経常利益	3,852	3,124	△729	△18.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,701	2,780	+80	+2.9%

特別利益・損失

✓特別利益	155百万円
✓特別損失	46百万円

親会社株主に帰属する当期純利益(前年比)

✓法人税等	△641百万円
-------	---------

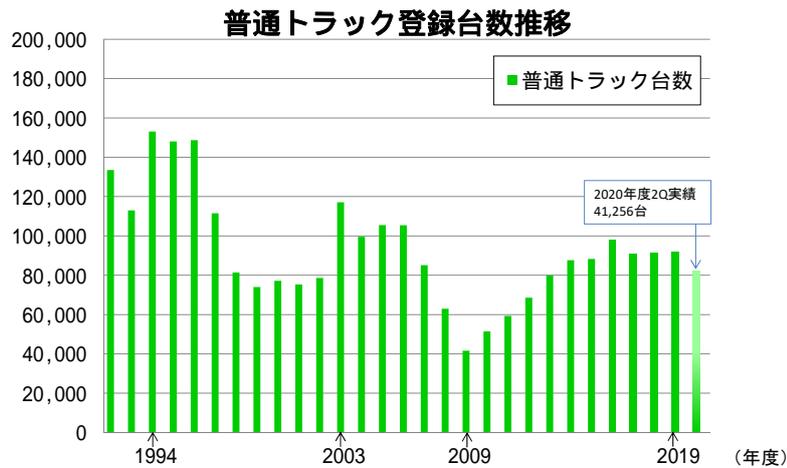
2021年3月期第2四半期 特装車事業



	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	49,387	45,230	△4,157	△8.4%
営業利益	2,810	2,676	△134	△4.8%

11

2021年3月期第2四半期 特装車事業(市場環境)



12

2021年3月期第2四半期 環境事業



売上高

- ✔ プラント竣工の減少
(前年同期は通常より高水準で推移)

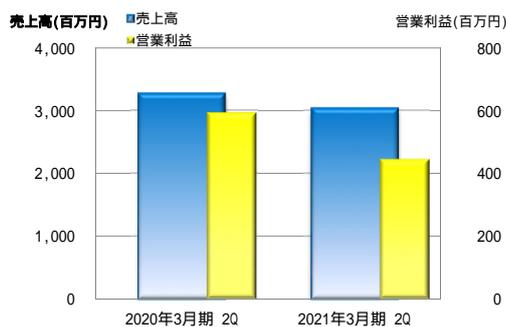
営業利益

- ✔ 新規運転受託分の寄与
- ✔ スtockビジネスの採算水準維持

	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	5,166	4,502	△664	△12.9%
営業利益	744	647	△97	△13.0%

13

2021年3月期第2四半期 不動産賃貸等事業



売上高

- ✔ 新型コロナウイルスの影響に伴う
コインパーキングの減少

- ✔ 立体駐車装置は横ばい

営業利益

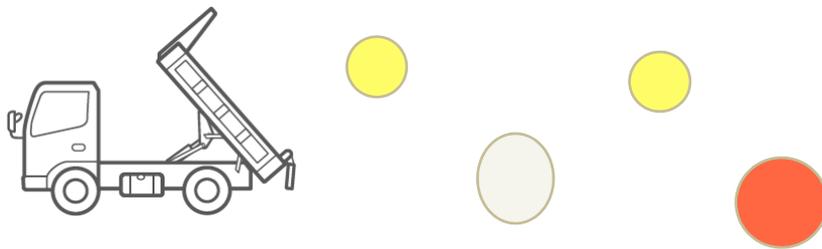
- ✔ コインパーキングの売上高減少

- ✔ 立体駐車装置の採算性向上

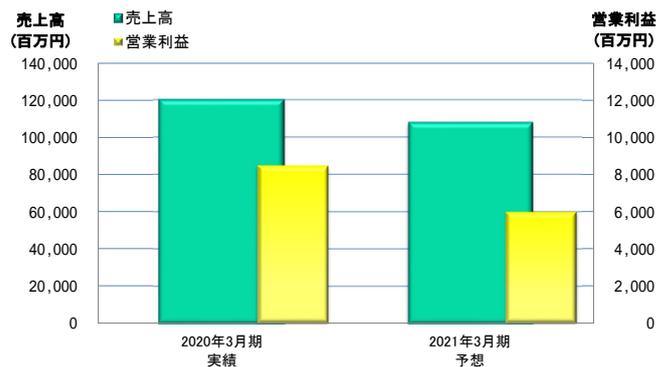
	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比増減	
売上高	3,540	3,200	△250	△7.1%
営業利益	594	446	△148	△24.9%

14

2021年3月期 連結業績予想

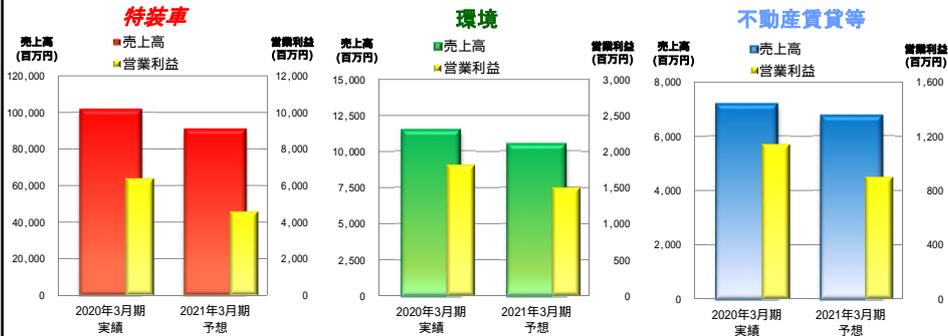


2021年3月期 連結業績予想



	2020年3月期 実績	2021年3月期 今回予想	前年同期比増減		2021年3月期 前回予想	前回予想比増減	
売上高	120,173	108,000	△12,173	△10.1%	106,500	+1,500	+1.4%
営業利益	8,493	6,000	△2,494	△29.4%	5,400	+800	+11.1%
経常利益	8,675	6,000	△2,676	△30.8%	5,500	+500	+9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,073	4,800	△1,273	△21.0%	4,400	+400	+9.1%

2021年3月期 セグメント別予想



事業	項目	2020年3月期	2021年3月期	前年比増減		2021年3月期	前回予想比増減	
		実績	予想	絶対値	%	前回予想	絶対値	%
特装車事業	売上高	102,078	91,300	△10,778	△10.6%	90,000	+1,300	+1.4%
	営業利益	6,417	4,800	△1,817	△28.3%	4,000	+800	+15.0%
環境事業	売上高	11,473	10,500	△973	△8.5%	10,500	+0	+0.0%
	営業利益	1,813	1,500	△313	△17.3%	1,500	+0	+0.0%
不動産賃貸等事業	売上高	7,189	6,750	△439	△6.1%	6,550	+200	+3.1%
	営業利益	1,142	900	△242	△21.2%	800	+100	+12.5%
調整額	売上高	△564	△550	+14	-	△550	+0	-
	営業利益	△880	△800	+80	-	△900	+100	-



新型コロナウイルス 感染症の影響について

【当社グループの方針】

お客様、地域の皆様、グループ従業員の安全確保を最優先としつつ
事業継続との両立を図る。

【直近の状況および対策】

1. 当社グループ内で感染者発生、全員軽症で事業への影響なし。
2. テレワーク・時差出勤・マイカー通勤を実施。
3. テレビ会議・WEB会議(WebEX Meetings、Zoom、Skype)を活用し、
外出制限下でも業務を継続すべく、デジタル化を推進。
4. 工場およびサービス拠点は感染予防策を採りつつ通常稼働。

➡ **各種施策の実施により、リスク低減を図る。**

1. 特装車事業

- (1) 生産は通常通り稼働、高水準の受注残。
- (2) 受注済案件でのキャンセルが若干発生。
- (3) 今後のリスク
 - ・営業：商談の延期・キャンセル。
 - ・生産：シャシの搬入・部品等の調達の遅れ。

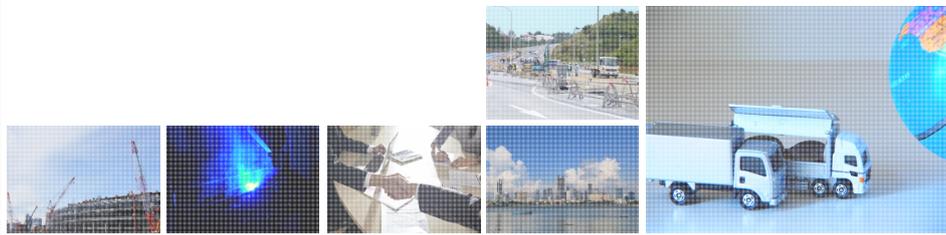
2. 環境事業

建設工事に遅延なく、運転受託は家庭ごみ増加等により繁忙。

3. 不動産賃貸等事業

市場では徐々に回復の兆しも見られ、今後の状況を注視。

今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ~設備投資効果の最大化

前中計までに実施した設備投資の運用と新たな設備投資により
売上の拡大・生産性向上を図る



生産性の向上と利益体質の強化 ～IoT・AI等の活用

IoT・AI等の活用を積極的に進め、
製品・サービスの付加価値向上と社内業務の効率化・自動化を推進する

IoT・センシング
⇒見える化・データ化



AI
⇒画像認識・自然言語処理
音声認識・予知予測



製品・サービスの付加価値向上



作業効率や操作性・安全性の向上
サービス支援(K-DaSS)

社内業務の効率化・自動化



スマートデバイス
・音声認識の活用

RPAの導入
(間接業務の効率化)

現場作業の
効率化・自動化

将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立

海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進

海外拠点

✓ 売上拡大から収益基盤確立へ
パラダイムシフト

インドネシア工場 (Kyokuto Indomobil)

- ダンプ・ミキサの安定受注確保
- サービス体制の確立

インド工場

- ダンプOEM生産量を向上 (VOLVO向け拡大、他メーカーへ展開)
- コストバランスの適正化



中国(昆山)



インドネシア



インド

輸出・グループ支援

✓ 国境を越えてグループ間で連携・役割分担することで全体最適化を図る

極東開発工業(日本)

- 輸出货量ダンプの受注拡大
- ユニット販売の促進
- 販売店増設(アジア・中近東)
- 新規海外専用機種の開発

昆山工場 极东开发(昆山)机械有限公司

- ミキサー マザー工場
- 日本向け部品拡大

極東特装车貿易(上海)

- 日本向け新規製品の開拓と原価低減

将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かせる既存事業周辺・応用領域にターゲットを絞り、事業成長に注力
成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討



企業品質の向上と社会的価値の深化 ～社会貢献の推進

転換期を迎える社会の中、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで
企業としての持続的成長性・付加価値向上につなげる

社会課題	当社グループの取組み内容	SDGsアイコン
人手不足の深刻化 女性・高齢者の労働参画	> 積載量の向上、トレーラー化 (輸送・作業の効率化) > 操作性・安全性の向上 > 省力化製品の提供 > 健康経営の推進 > 女性が活躍できる環境整備	3 5 8 9
社会インフラ老朽化 自然災害の多発	> 各種特装製品の提供 > 生産能力の向上・柔軟化 > BCPの推進	9 11 12
脱炭素化・循環型社会の構築	> 環境事業の推進 (リサイクル、バイオガス等) > 製品の省エネ化・電動化 > 環境負荷物質の低減 > 太陽光発電事業 > 環境マネジメントのグループ拡充	7 11 12 13
製造業の空洞化 持続可能なものづくり	> ものづくりの技能伝承 > 工場見学・インターンシップの実施 > 持続可能な調達の推進	4 9 12

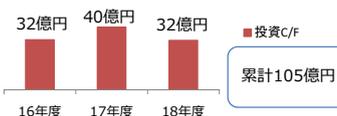
設備投資額・減価償却費・研究開発費



創出したキャッシュフローは持続的成長に向けた設備投資・戦略投資に積極活用

設備投資・戦略投資
3カ年累計 200~300億円

(参考) 2016~18年度の実績



	2020.3期 実績	2021.3期 予想
設備投資	39億円	39億円
減価償却費	25億円	26億円
研究開発費	14億円	15億円

27

配当政策

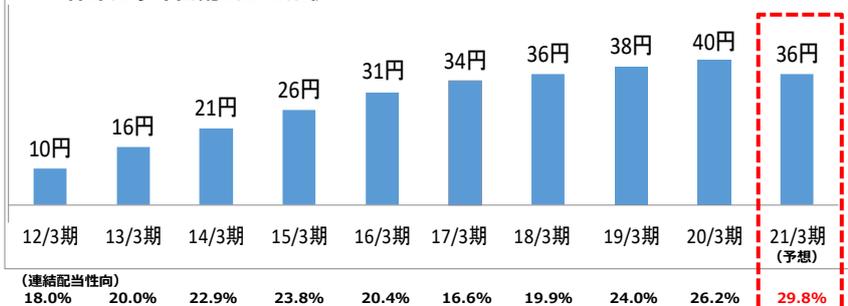


配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

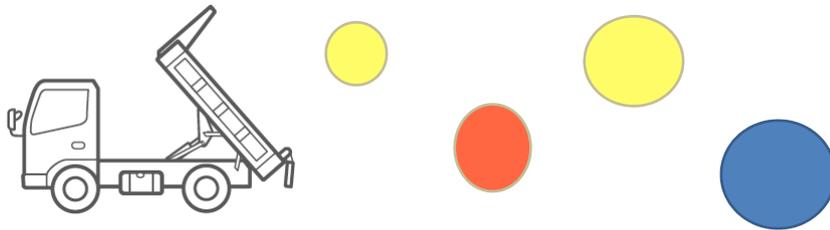
株主還元
安定的・継続的な配当を重視
配当性向 30%前後目安

一株あたり年間配当額の推移



28

TOPICS



TOPICS① インド特装車メーカーSATRAC社の全株式を取得

- ・SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITED（以下、SATRAC社）の全株式を2020年9月9日付で取得しグループ化（完全子会社化）を実施。
- ・インド特装車市場は、中長期的には、大規模なインフラプロジェクトの推進、物流・鉄鋼分野の成長等により、建設・物流車両の需要拡大が見込まれる。また、人口増・経済成長によるごみ量の増加、政府の推進するクリーン・インド、スマートシティの政策等により、都市部を中心にゴミ収集車など環境車両の需要拡大も予想される。



本グループ化により、インド南部における優れた生産拠点と顧客を確保、インドにおける事業基盤をさらに強化し、当社グループのこれまで培ってきた事業上・技術上のプラットフォームを活用しながら、同国における特装車事業を拡大・発展させていく。

【SATRAC社概要】

1. 商号	SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITED
2. 所在地	インド・カルナタカ州・ソンプラ工業地域 (ベンガルール市近郊)
3. 代表者	取締役社長 MRINAL BANTWAL
4. 主な事業内容	ダンプトラックボデー、各種トレーラ等の製造販売
5. 設立	1997年11月
6. 売上高	1,329百万インドルピー（1,887百万円）（※2020年3月期実績）
7. 資本金	30百万インドルピー（42百万円）
8. 従業員数	127人（2020年8月末現在）
9. 取得日	2020年9月9日

TOPICS② 画像認識AI搭載の安全支援システム「KIES(キース)」を発売 **KYOKUTO**

2020年8月31日発売

【特長】

- ・作業現場のカメラ映像から危険状態を判定することで積込装置に人が巻き込まれるリスクを軽減した安全支援システム
- ・高性能専用カメラ(バックアイカメラ兼用)と独自のAI画像認識技術により「人」を高精度で検知することで収集時の危険を察知し、積込装置を自動停止。
- ・周囲の環境や状況および明るさによる影響が少ないため、場所や収集物、時間を問わず検知を可能としているほか、「人」全体を把握して検知を行うことから、特別な専用装備を必要とせず作業員の方はもちろんのこと、作業員以外の方も検知を行うことが可能。

➡ 収集時の作業性を損ねることなく、より高度な安全性を確保することができる
全く新しい安全支援システムのご提供



TOPICS③ 車両管理支援システム「K-DaSS®」ごみ収集車ユーザー向けアプリ・Web **KYOKUTO**

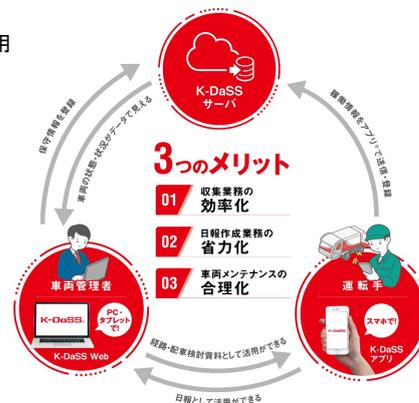
2020年7月受注分より対応

- ・特装車の稼働状況を記録・蓄積する当社独自のIoT基盤を利用した車両管理支援システム「K-DaSS (※1)」の、ごみ収集車ユーザー向けのアプリおよびWebの展開をスタート。(※1) K-DaSS : ケーダス (Kyokuto Data Sharing Service)

- ・事前のID登録を行っていただくことにより無料でのご利用ができ、ご登録された車両の「統計情報」・「移動履歴」・「収集管理」・「保守情報」の確認が可能。

- ・「K-DaSS」で確認できるデータを活用することにより、ドライバーの方と車両管理者の方の間での情報共有と、「収集業務の効率化」・「日報作成業務の省力化」・「車両メンテナンスの合理化」の3つのメリットを実現。

➡ 今後、順次各製品への展開と、システムのアップデートを行い、「つながる特装車(コネクティッドSPV (※2))」の取り組みにさらなる注力を図る。
(※2) SPV : Special Purpose Vehicle



「K-DaSS」アプリ・Web イメージ



本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く
本資料を複製・配布することを禁止します。